

請願第 7 号

町田市教育委員会会議
教育長 小池慎一郎 様

2026年9月14日

一人一人の子どもの命を大切に
成瀬小学校通学路の「クリエイトの交差点」に
「信号見守り員」の配置を求めます(請願)



豊かな教育と公正な税金の運用を求める会
事務局

連絡先
電話



(請願の要旨)

一人一人の子どもの命を大切に、成瀬小学校通学路の「クリエイト交差点」に「信号見守り員」の配置を求めます。

(請願の理由)

今日は意見陳述の機会を与えてくださり、ありがとうございます。
南成瀬に住んでいる佐藤と申します。

成瀬小学校正門前の「信号見守り員」については、教育委員会が前もって「願意に沿って」くれて、6月から配置されました。当面は、6月7月の契約でしたが、9月からも「見守り員」が横断旗等を持って、子ども達の通学を守っています。

【登校時、子どもが青信号で渡っても、交通ルールを守っても、車にひかれて亡くなっています】

7月10日、南成瀬6丁目で(成瀬小学校の学区です)、大人の交通死亡事故があり、7月13日、近くの小川4丁目の交差点でも交通死亡事故がありました。

7月15日には、西東京市の交差点で、登校時、小3の男の子が車にひかれて亡くなり、また同じ日に、愛知県・小牧市でも、登校時、小1の女の子が横断中に車にひかれて亡くなりました。2016年2月17日、登校時、鶴間の交差点で、南第1小の小1の男の子が、車にひかれて亡くなりました。

小牧市で小1の女の子が横断中にひかれて亡くなった所は、「危ない所と言われていた」のに、そのままになっていて、車にひかれて亡くなりました。

そういう交通死亡事故もないように、成瀬地区では、【成瀬駅東】・【成瀬駅ガード北】・【吹上橋】・【南2小東】・【扇橋】の交差点と【西山橋】の横断歩道には、地域の協力があり、毎日黄色の横断旗等を持って、(子どもに声をかけたり)、子どもの通学の安全を支えています。

【クリエイトの交差点の通学と見守りの様子について】

子どもたちは、安全に近くの学校に通うのが、保護者や地域の願いです。

南成瀬小と南第2小が、2025年4月に「成瀬小学校」に統合されました。成瀬小の通学路では、最初は、クリエイトの交差点で成瀬高校の生徒との「滞留」がありました。2025年6月中旬には通学路が分散され、クリエイトの交差点を渡る子どもは、前の200名程→130名程に、今年度は110名程に緩和されましたが、それでも統合前よりかなり多くの子どもが、クリエイトの交差点を渡っています。

クリエイトの交差点は、登校時、車の交通量が多く、道路が両方から上り坂になっていて、見通しが悪く、危ないです。

クリエイトの交差点では、登校時、2025年9月12日～2026年3月25日では、

地域の協力の見守りはありませんでした。保護者の見守りは、5日/104日（私の見守り日）ありました。（ありがたいです）

2026年4月6日～7月17日では、地域の協力は、5月11日にありました。

学校の方では、2026年度は「安全指導・安全点検」を設け、4月は4日でしたが、他の月は、1月に1日実施して、保護者が交差点等で、子どもの通学安全を支えています。保護者の見守りは、6日/61日（私の見守り日）でした。保護者の見守りは、大変ありがたいですが、それ以上は無理だと思います。

9月になって、学校が始まって、【成瀬駅東】交差点で見守りをしている「地域協力の見守り員」が、「クリエイトの交差点は手薄（で危ない）」と言って、新たに人数は増えない中で、「週に2日（木・金）」見守りをしています。しかし、その分、元々通学路の分散で重要な【成瀬駅東】交差点の見守りの体制が薄くなり、結局全体として危なくなっています。

【成瀬高校の生徒の通学の変化と校長先生の見守り】

2025年4月統合の成瀬小の通学路では、最初は、クリエイトの交差点での成瀬高校の生徒との「滞留」がありました。成瀬小の方では、2025年6月中旬に通学路が分散されました。

一方、成瀬高校の生徒の通学は、その後どうなったのかと見てみました。前もいましたが、成瀬駅→成瀬駅東交差点からそのままクリエイトの交差点に向かうのではなく、一本住宅の方の道路を歩く生徒が増えて、「クリエイトの交差点」を渡る生徒が減り、結果的には成瀬小の子ども達が、歩きやすくなりました。

成瀬高校の生徒は、「クリエイトの交差点」から30m程下の方の（成瀬小に向かう反対側）「信号のない交差点」を渡る生徒が増えたので、成瀬高校の校長先生が、安全確保のために、その交差点で登校時、見守りで立つようになりました。校長先生はコウモリ傘を持って、雨の日はもちろん暑い日もコウモリ傘を開いて、成瀬高校の生徒が「信号のない交差点」を渡るのを、誘導しています。

都立高校は、町田市シルバー人材センターの配置とかはできないので、校長先生自身が見守りをしています。

校長先生に伺いましたら、「最初はここで見守りをして、8時20分には（恩田川にかかっている）二反田橋に行ってみ守りをしている」と言っていました（成瀬高校のショートホームルームは8時30分から）。

このように状況ですので、市教育委員会は、成瀬高校に出向いて、成瀬高校の生徒へのお礼と成瀬高校へのお詫びをするのが、社会的なマナーだと思います。

【具体的には】

命は一つしかありません。青信号で渡っても、車にひかれる死亡事故があります。クリエイトの交差点では、16時30分～19時は、危ないとの認識から、学童保育見守り員が見守りしています。

ぜひ、2026年6月に成瀬小正門前に配置した「信号見守り員」と同様に、クリエイトの交差点にも「信号見守り員」を登校時に（45分）、11月から（できるだけ早く）配置してほしいです。

【クリエイトの交差点に「信号見守り員」の配置について】

・時間：7:40～8:25

※教育委員会は、「7:30～8:30の中で45分」と表現でしょうか。

・シルバー人材センターとの契約

(町田市が全額、成瀬小正門前の「信号見守り員」と同じであれば)

(45分で) 1225円 (会員=995円、事務局=230円)

<2026年11月～2027年3月 そのまま続けた場合>
1225円×89日=10万9025円

<仮に2027年4月～2028年3月(200日程)>
1225円×200日=24万4500円

【登校時、万が一クリエイイトの交差点で、子どもが車にひかれて
亡くなった場合、市教育委員会は、どう責任を取るのでしょうか】

9月9日に、現在の学校教育部長が、成瀬小学校の通学状況を初めて、「クリエイイトの交差点」の通学の様子を見学しました。(通学路の分散で重要な「成瀬駅東交差点」等の通学状況は見学しなかったようです)

1回でも実際に見学したことは大事なことだと思いますが、市議会での学校教育部長等の発言や市議会議員とのやりとりを聞くと、「裏づけ」や成瀬地区の他の交差点の地域の協力の見守り(やご苦労)との整合性そして根拠もなく、ただその場しのぎで言ってるだけでした。

教育委員会が、見た感想を言うだけでは、子どもの命や通学の安全は担保されません。保護者や地域の暖かい協力の中で、一人一人の子どもの命を守り、一緒に大事な教育に取り組んでいるという自覚を持ってほしいです。

保護者の皆さんや私達も税金を払っています。そんなに多くない費用を適切に使い、より確実に子どもの命や通学の安全を支えることが大切です。

【経過と状況】

2026年7月15日 9時5分 西東京市の交差点 小3(男・8才)横断中 死亡事故

同年7月15日 8時頃 愛知県小牧市の横断歩道 小1(女・6才)横断中 死亡事故
※危ない所と言われていた 集団登校最後を歩いてて転倒

【町田市】

2016年2月17日 7時45分 鶴間の交差点 南1小1年(男・7才) 横断中 死亡事故

2026年7月10日 18時50分 南成瀬6丁目 男(自転車・50代)車と衝突 死亡事故

同年7月13日 16時25分 小川4丁目の交差点 女(80代)横断中 車に死亡事故

<成瀬小の登校時間>

8時15分～8時25分

<成瀬小の「学童保育見守り員」> (児童青少年課学童保育係より)

勤務場所: クリエイトの交差点 学童保育の駐車場

見守り員 勤務16:30～19時

1日 2名 途中で勤務場所を交代